

ニュージーランド金融政策（2021年10月）

7年ぶりの利上げ

2021年10月6日

利上げ継続がNZドルの下支え要因に

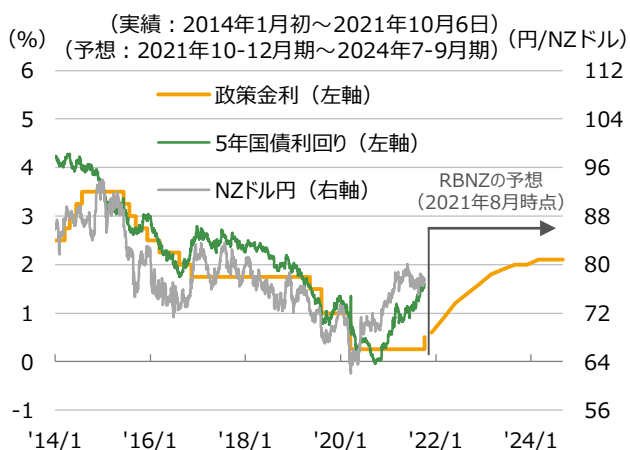
RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は10月6日（現地、以下同様）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を0.25%から0.50%に引き上げることを決定しました。利上げはおよそ7年ぶりです。

前回、8月18日の会合でも利上げが予想されていましたが、直前に新型コロナウイルスのデルタ株による感染が確認され、全土にロックダウンが導入されたため、同会合では利上げが見送られたという経緯がありました。その後は感染拡大が落ち着いたため、行動制限が段階的に緩和されています。また、ニュージーランドは他の先進国に比べてワクチン接種が遅れていましたが、8月のロックダウンを境に接種ペースが加速し、直近では対象者の約8割が1回目の接種を、約5割が2回目の接種を終えています。

RBNZは、最近のロックダウンがサービス業などに悪影響を及ぼしたことに言及しつつも、家計と企業の強靱なバランスシート、現行の財政支援策、良好な交易条件などは、行動制限が緩和されるにしたがって経済活動が急速に回復するとの自信を持たせてくれると述べています。そのため、インフレや雇用に関する中期的な見通しは8月時点から大きな変化がなく、低インフレを維持し最大かつ持続可能な雇用を支援するためには金融緩和のレベルを引き下げる（利上げする）ことが適切だと説明しています。また利上げは、持続不可能な水準にある住宅価格を沈静化させるためのひとつの要素であるとも述べています。

RBNZはインフレと雇用の中期的な見通しに留意しながら今後も利上げを進めることを示唆しており、こうした動きはNZドルの下支え要因になると期待されます。

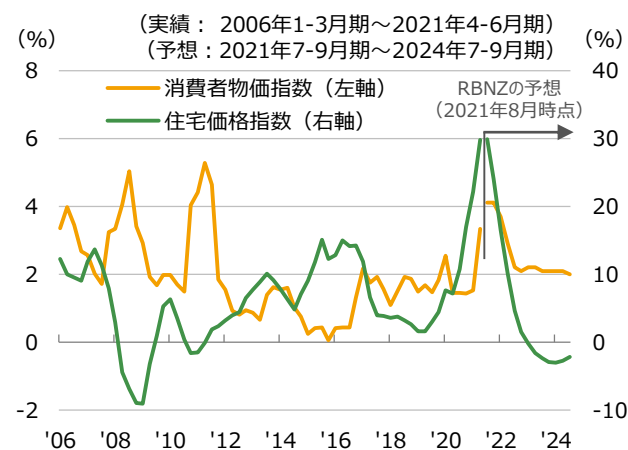
■ ニュージーランドの金利と為替



※国債利回りとNZドル円は2021年10月5日までのデータ
※政策金利は決定日ベース

（出所）ブルームバーグ、RBNZ

■ ニュージーランドの消費者物価指数と住宅価格



※いずれも前年同期比

（出所）RBNZ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。